

議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年4月23日(月) 19時00分～20時45分		
開催場所	総合保健福祉センターゆとろ	出席者	24名
出席議員	島田副議長、稲村議会運営委員長、高谷議員、岡野議員、古谷議員、秋場議員		
<p>◎稲村議運委員長開会</p> <p>◎島田副議長開会挨拶</p> <p>皆さん、お晩でした。議会報告会を始めて今年で5年目となり、数えること11回目となりました。この間、皆様方には色々ご意見等もいただき「もっとわかりやすい報告会にしたらいのではないか。」とのご意見もいただいた中で、毎回、少しずつですけれども見やすくわかりやすい資料を作るよう心掛けて今日に至っております。今日は、昨年の12月定例会と今年3月の新年度予算に関わる定例会についての報告をさせていただきたいと思っております。また、これから各担当の議員から説明をすることになっておりまして、明日は西当別のほうで残りの議員が同じように議会報告会を開催します。どの会場でも同じ内容の説明をするということにしております。また、議会の本質、審議を伝えるという観点から、なるべく議員個人の意見は控えようということで進めております。改めてご承知おきをしていただきたいと思いますと思っております。また、3月の定例会で色々議論になっていることを、今日、皆さんから色々お話をいただけるかもしれませんし、議会側からも報告があると思います。また、来年4月には議員の改選を迎え、もう残すところ1年になったわけですけれども、今、議会運営委員会を中心に議員定数や議員報酬についても、6月定例会を目途に結論を出していこうということで、議会運営委員会で審議をしています。そのようなこともありますので、町民の皆さんから議員定数や報酬に関わるご意見等もあれば、今日、ぜひ聞かせていただきたいと思いますと思っております。また、最後のほうになりますけれども、フリートークの時間を十分にとっております。それぞれ地域で抱えている問題が多々あると思いますので、是非、それらのことについてもお聞かせをしていただきたいと思いますと思っております。いずれにしても、夜分お疲れのところ、特に農作業等が非常に忙しい時期に関わらず、このように集まっていたことに感謝を申し上げて、開会のご挨拶とさせていただきます。今日は、よろしく願いいたします。</p> <p>◎議員自己紹介</p> <p>◎議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会報告(12月ー古谷議員説明、3月ー秋場議員説明) ・サタデー議会報告ー島田副議長説明 <p>○(議会)何か質問等あればお受けしたいと思います。</p> <p>○(町民)質問がある。一つ目は、色々な陳情が出されており、継続審査や採択、不採択と色々あるが、趣旨採択というのもある。趣旨採択と採択の違いを教えてください。また、それぞれの定例会の日程が書かれているが、その会期以外の期間にも、おそらく常</p>			

任委員会とかされていると思う。それがどの程度開催されているのか、これを見てもわからないので、できれば今度の報告会からは載せていただければありがたい。わかる範囲を口頭で、どの委員会が何回くらい開催されているのか教えていただきたい。また、当別町の公共施設に関するあり方検討特別委員会が設置され、まだ12月に設置されたばかりで、そんなに色々と進んでいるかわからないが、主な公共施設、老朽化とかそういう問題が出されていたが、主にどのような施設について検討されているのかを聞きたいと思う。

○（議会）中間の委員会の話をさせていただきたいと思う。ほぼ定例会の前に補正予算関係の委員会がある。これまでの議会広報の後ろのページに委員会の関係が載っている。ほぼ2回常任委員会があると考えていただければいいと思う。

○（町民）一つの委員会について、2回あると考えていいか。

○（議会）そうである。最初にあった質問については、・・・議員から答えてもらおうと思う。それから、最後の質問については、・・・議員から答えさせていただきたいと思う。

○（議会）請願や陳情を議会に出していただいているが、今の質問は趣旨採択と採択の違いは何かということであったと思う。陳情と請願については、採択か不採択かどちらかしか本来ないが、今、便宜的に当別町議会が、趣旨採択ということも取り入れているのが現状である。というのは、具体的な陳情項目が二つ三つあって、それを全て採択するのか、一つについては採択できても残りについては無理であるとなってしまうとか、部分採択という方法もあるが、項目については採択できないが、その考え方、陳情される方の思いは理解できるということで、当別町議会が趣旨採択という方法を今とらせてもらっている。それが、私どもの議会としての考え方ということである。これは、議会が決めることで、決まっているわけではないが、当別の議会では、そういうことで行っている。

○（議会）公共施設の委員会の設置については先ほど説明があったと思う。その後の委員会の取り組みであるが、2回委員会を開催している。その中で、まず当別町の公共施設に対するどのような形で維持したい、あるいは、継続しているのかということ調べるための説明を受ける委員会を1回開催している。公共施設等総合管理計画というものがあり、これに基づいて当別町が公共施設の管理をしているということが一点ある。その中で、270くらいの公共施設があるが、その施設に対して、現状どうなのかということで、調査聞き取りをしたのが初回である。それから、その後、この公共施設あり方検討委員会そのものがどのようなものなのかということ今議論しており、皆さんご承知と思うが、当別町が有している公共施設は、ちょうどバブル期前後からずっと建設が増え、その頃の建物が非常に多い。そのため、かなり古くなってきている。そのような中で、維持費などもかかる状況になってきているので、公共施設を維持し、有効に使いなさいということで、各自治体に話が来て、それに基づいて当別町も計画を立てて、行っているところである。その聞き取り等々、また維持の方法、これらが公共施設特別委員会の中で行っていくことである。また、当別町が新しく造ろうとしている施設等々もある。例えば、小中一貫校など新しく建てようとしている施設についても、どのようなものがあるのか、必要か必要でないかも含め検討をさせていただく。また、当別町は、財政的に必ずしも十分ではないという状況の中で、当別町にはどのような公共施設が必要であるのか原点から検討していこうということで、2回委員会を開かせていただいた。取り組み途上であり、一生懸命研究させてい

ただきながら、提言なり、まとめをしていきたいと考えている。

○（議会）よろしいか。

○（町民）いつ頃を目途にまとめるのか。

○（議会）私ども議員の任期が来年の春までである。立ち上げたのが12月で1年ちょっとしかない。その中で、どこまでやれるかということで、まず、来年3月の任期終了までには一定の結論を出して、ご報告をさせていただければと思っている。

○（議会）よろしいか。

○（町民）はい。

○（議会）その他何かあれば。

○（町民）前回10月の議会報告会の中で、3人ほどの方から住民懇談会を早急に開いてくれと。それも地区の町内会ごとを開いてくれと。・・・議員はちょうどいたからいいが、この意見を全く無視して何も町はしていない。これは、町長にも問題があるが、議会も問題がある。それと、幾つかあるが、道の駅の会計報告が全くなされていない。最初聞いていたのは、ロイズからの土地の寄付だと。実際は、買収でしょ。なんぼ議会報告会を広報を読んでも、買収費用が載っていない。これは私の勘違いか。この問題は、明らかに町が隠しているか、ごまかしているか。それと、この道の駅に最初から2,000万円の赤字を補填するという会計報告が出されていたと。これは、実際にどうなのか。これは、大変な問題である。それから、今、そちらの方が、陳情書のあり方について聞かれたが、それぞれの方が本当にお金と命を投げうって真剣にこの問題に立ち向かっていると思う。特に、町内の夜間休日の診療体制の陳情、これが、去年の6月の段階で出てる。それに対して、6月の段階で既に聞いていたのであれば、町長も副町長もいるんだから、厚生労働省なり、北海道にどうしてこの問題の対策を陳情していないのか。町長はしていないと言っていた。ただ、医師会とは相談していたと言っていたけども。・・・、元の副議長の説明では、現在の耐震建築に追いついていないと。複数の問題があったことで、それが、こういうことに至ったが、これに対して町長は、町立病院の計画は全くないと言っていた。町長だけの考えが先行するのか。民主主義というのは、議会があるわけでしょ。議会の意見も聞かないわけでしょ…。

○（議会）今は、議会報告の中で質問を受けている。半分くらいは、議会報告のことに触れていると思うが、少し整理させていただければと思う。議会報告について質問があれば、それを優先させていただく。その後、フリートークとしている。まずは、議会報告の質問があれば先にお受けしたいと思う。

○（町民）それは任せるが、議会報告の中で今質問している。

○（議会）議会報告ではないところもあるので、整理をさせていただきたい。

○（町民）議員提案についてであるが、堀江病院の閉院を踏まえて、持続可能な当別地域医療体制の確立を求める意見書について、具体的な内容を教えていただきたい。

○（議会）議運でまとめた議員提案である。そのまま読み上げさせてもらって、よろしいか。

○（町民）はい。

○（議会）議員提案第1号。堀江病院の閉院を踏まえて、持続可能な当別町地域医療体制

の確立を求める意見書。堀江病院の閉院を踏まえて、持続可能な当別町地域医療体制の確立を求める意見書について、当別町議会会議規則第 14 条の規定により、提出します。平成 30 年 3 月 6 日提出である。提出者、当別町議会議員稲村勝俊。賛成者、山崎議員、高谷議、岡野議員、石川議員、山田議員、澁谷議員ということで、提出させていただいている。提案の理由、平成 29 年 11 月、医療法人社団治心会堀江病院から、平成 30 年 3 月 31 日をもって閉院するとの意向が当別町に伝えられた。同院の閉院に伴う当別町の地域医療体制に対する影響については、夜間休日当番医などの救急医療、入院病床、診療科目などの問題が当面生じると考えられる。また、当別町民の福祉向上を図る上で、地方創生総合戦略達成の上でも、健康で豊かな暮らしを守る持続可能な地域医療体制の確立は、必要不可欠な要素である。よって、当別町において、持続可能な地域医療体制の確立を図るよう強く要望する。堀江病院の閉院を踏まえて、持続可能な当別町地域医療体制の確立を求める意見書。それでは、要約した 1 番から 4 番について、報告させていただきたいと思う。持続可能な地域医療体制構築の時間を確保するため、閉院については、廃止ではなく休止とするよう同院に対して要請すること。町民が必要とする入院病床を確保するために最大限努めること。町民の健康で豊かな暮らしを守るため、町内外の関係機関、団体に働きかけるなど主導的な役割を果たすこと。地域医療は、町民生活に密接に関連するだけでなく、当別町の地方創生総合戦略達成においても、必要不可欠な要素であることから、情報発信に努めること。ということで意見書を提出して、議長から町長に手渡し、議員提案をさせていただいている。

○(町民) ここには載っていないが、町の広報 4 月号に載っている農業の 10 年計画を町長は発表している。これは町議会を通っているのか。独自で発表したら大変な状況であると思う。というのは、4 つの大きな母体がある。戸別保障、これはまだ政府がはっきりしていない。それから転作保障、これは一部もうなくなっている。それから TPP も日本ではまだはっきり打ち出されていない。FTA、アメリカの二か国のこれもまだ発表されていない。そういう状態で、10 年計画は、全部その基礎が揃ってからやらないととんでもない方向にいつてしまうと思う。当別は、農業の基盤が一番大事なことである。もう一つ大事なことは、後継者を作ることである。当別の農業は、すごい年が若い人と離れている。70 代や 80 代が主流になっていると思う。これをちゃんとしておかないと。新篠津と一緒に提携してやっているでしょ。これをちゃんと活用すると。移住で夫婦が入ってきて子どもができれば人口も増える。求めている人口対策というのはどこに求めているのかちょっと疑問である。はっきり言って。農業が一番大事である。農業をすることが一番大事なと。空き家対策もできる。空き家対策もある程度補助金が出るということになっている。補償程度の金額は出る。そういうのを上手く活用しないと当別はいい方向にならないのではないかということである。大事なことは、いかに基盤を作ってから 10 年計画をどうするかということである。当別の農業も腐れてしまったら大変なことになると思う。あと、農福でやるという方法もある。青写真を出すとお金が降りてくる。新聞に載っている。そのような方法もあると思う。福祉のほうも充実させることもできる。これは、そちらからの意見や感想はいいので、町長に質問をしてもらいたいということである。町長からただ 10 年計画と頭から言われてもだめである。これは町議の中で全部話してから、出る話で

ある。頭から 10 年計画と広報に載っている。大事なことは、みんなで話し合ってからあげるということである。医療の件もそうである。11 月に堀江院長が辞めるという話になって、昨日、北海道新聞の朝刊の一面の裏側についている。最終的な原因は、院長もお歳をとりましてという話が載っていた。建物も古くなってきていると載っていた。

○（町民）長すぎると思う。簡潔に願います。

○（町民）最終的には、そういうあれをちゃんとするには、後継者がいないとできないと思う。後継者がいなかったために、このような状況になったと思うので、よろしく願います。後継者をちゃんと作っておかなければならない、人材を。一番大事なことであると思うので、町長に尋ねてもらいたいと思う。話は長くなったが、よろしく。

○（議会）大半はご意見と受け取るが、10 年ビジョンについては、農業を代表するその他色々なメンバーが入って作っている。もちろんそれを議会で賛成して進めているので、それが上手く進んでいくかという部分はあるが、町長が勝手に作ったものではない。今の点は、ご意見として伺う。その後、堀江病院の関係の話もあったが、先ほども質問あったが、他に堀江病院の閉院の関係でご意見があれば伺いたいと思う。

○（町民）陳情の中で全会一致採択が、堀江病院と札沼線廃止の問題である。全議員が賛成しているのを見ていいんですね。それで、これに対して、全議員が賛成してやってくれということに対して、やはり住民懇談会を開いて、町長、副町長がきちんと答弁すべきなんだよ。そのことについて、もう一回議員さんがどのように考えているのか。

○（議会）おそらく、言われていることは、前回の議会報告会の際にも町理事者側として、住民懇談会をなぜ開かないんだという意見は確かに出ていた。住民懇談会を定期的に町側が開いていただければ、色々な町民の不安は直接町理事者に訴えられるのに、なぜそのような機会を議会としても率先して町長に発信しないんだという、そういう趣旨であると思っている。議会報告会が終わったあとに、住民懇談会を定期的にやはりやるべきだということも町側には伝えてある。あとは理事者側が開くか開かないかは、町長側が考えることであるので、それ以上のことは今言えないが、今回の堀江病院の件に絡んで4月から新しい休日の診療であるとか、夜間の診療であるとかは、3月の末に町長出席のもとで、説明会をされていると聞いている。そういうことで、その分については、やっているということであるが、その他の色々な行政一般についての住民懇談会というのは私個人としては、ぜひやってほしいという思いは同じである。

○（町民）それでは、議会全会一致でこの札沼線の問題と病院の問題が出たが、議会の人として、…並びに北海道に行って、資料を集めたことはあるのか。

○（議会）札沼線の鉄道の廃止については、確かに、全会一致である。ただ、堀江病院に関する陳情は、このとき全会一致ではしていない。

○（町民）全会一致で採択と書いてある。

○（議会）議員提案のことであると思う。

○（議会）我々議員提案は全会一致でやったが、陳情としてあがってきていた堀江病院に関係するものは、審査をしている最中であるので、まだ結論は出ていない。全会一致というのは、先ほど読み上げたものを議員全員が賛成して町長に提出した3月定例会のものである。陳情と分けて考えていただければいいと思う。混同されているのかなと聞いていて

思った。

○（町民）その答弁は、ちょっとわからないが、29年の第3回の産業委員会で既に、勤医協の関係者たちが出しているわけでしょ。

○（町民）違いますよね。夜間休日診療体制というのは、堀江病院の問題が出る前に出している。私が説明するのへんであるが、この12月議会のときの全会一致採択という町内の夜間診療体制の充実を求める陳情というのは、6月に出したもので、堀江病院がなくなることは別に、全くそのことがわかってない段階でも充実させて下さいという陳情を出されて、それが採択されたということであるので、別ものである。

○（町民）わかった。

◎懇談

○（議会）幅広くお話を伺いたいと思う。

○（議会）先ほど、道の駅の土地の質問があったが、これはきちっと議場で提出され、我々も全部審議している。一つも隠していない。ちゃんと土地の鑑定を全部されたものを議決している。それから、会計の報告がないじゃないかということであったが、会計上は会計年度があるので、当別町は6,000万のうちの4,000万を出資しているので、その相当分に対する会計の報告というのは、決算年度であがってくる。それは、別に隠すことでも何でもない。他にもたくさんそういう組織があるから、その都度報告はされている。

○（町民）それでは、用地買収費はいくらであったのか。

○（議会）1,400万くらいですかね。駐車場の分は、当別町とは関係なく、国が買い取った。単価は同じである。駐車場は、道の駅であるので国が買っている。

○（町民）そういう大事な問題は、きちんとオープンに…。

○（議会）オープンにしている。公開の議場でやっている。

○（議会）当別町は、重点道の駅に指定された関係で、1ヘクタール分の土地の買収とあそこの駐車場の整備代、あれは全て国の国土交通省から指定されて全部やってもらっている。それで、当別町が買った土地というのは、今、道の駅が建っている場所の1ヘクタール分を、当時の太美ファームというところから1,480万か1,440万、土地の単価で買っている。隣の駐車場も同じ単価であるので、公表されているはずである。

○（町民）広報には載っていないよ。

○（議会）広報には全部は載っていないが、ちゃんと全部値段も出ているし、土地の鑑定評価も全部見ている。それで、これはその値段ということで、議決をちゃんとしている。細かい予算を。これは、議場でも報告されている。それと、ちょうどいい機会であるので、三月末現在で、当別町の道の駅、入込数が40万5,735人、それから売り上げが当初目標にしていた2億2,000万に、ほぼ近い2億407万1,451円というところまで来ている。当初3月までで2億2,000万円という目標であったが、3月で2億400万というところまで来ている。

○（議会）先ほどの質問の中で何か漏れているところはあるか。

○（町民）このもらったチラシ、平成30年度総額149億、広報だけから見たら道の駅が150億。道の駅そのものには反対していない。なぜ、こんなに巨額なお金を使う必要があ

ったのか。それと、町長に断固もう一回抗議したいのは、町立病院の考えは全くないと。これだけ、お金を使っている、堀江病院の職員の看護婦さんも言っていた。病院で働くことに、プライドと誇りをもっている。給料は問題ではないと。これ間違いなく、看護婦さんも運転手さんも言っていた。そういう住民の意向を全く無視して、町立なんて全然頭はないと。町長は2期やったが、企業を誘致して住民が増えると。これが最初の公約でしょ。それに対して、町がかなり予算を使ってきた。町長が何と言ったかという、そんな住民が3万も5万も増えるようなことは一言も言っていないと。現実には、企業誘致なんかは全くない。人口は、300人減っている。それともう一つ、太陽光パネルが蕨岱にできたが、あれは企業に町有地を貸してお金をもらっているなら、その借地料を絶対に公開すべきである。次に、第二、第三の太陽光パネルを設置するために、民主主義社会であるから、そういう面をオープンにするのが当たり前の真ん中である。議会にちょっとお聞きしたい。

○（議会）今の病院関係については、ご意見として伺う。それから、太陽光パネルの町有地への設置については、敷地料をいただいている。別に、隠していることでもないし、おかしなところは自分としてはないと思っている。

○（町民）〔バン※机を叩く音〕そしたら資料を何で出さないの。

○（町民）全部ここで発表するのは無理である。それを聞いたかったら役場に行って確認したらいいじゃないですか、あなたが。

○（町民）そんなこと回答しないわけだから。

○（町民）私の言っていること間違ってますか。

○（町民）議会報告会でしょ…

○（町民）知りたかったら聞いて下さいよ、直接行って。

○（町民）この議会報告会で質問しているんですよ。住民に全てオープンにすれと。

○（町民）それをやったらどれだけ資料がいるんですか。

○（議会）ご意見として伺う部分は伺う。せっかくの貴重な時間であるので、皆さんからお受けしたいと思うので、よろしく願います。

○（町民）この間、堀江病院の問題が発表になってから5ヶ月間くらいの間、町としても大変な取り組みであったという感想を持っている。それと同時に署名運動などもやっているが、町民の中にやはり大きな不安がまだ残っているし、4月に入っても堀江病院の意向がまだ不明であるということもわかり、一体いつになったら色々な方向性を出せるのかということが、不安に思っている点である。それで、今回このような問題が起きて、ある意味、大変なことであるが、これをいい機会にして町民皆が、医療だけではなく今後高齢化する、道新にも「当別町はぎりぎり半分以下にはならないけれども人口が減っていく。一方高齢化が進む。」というのがこの間報道されているので、そういう中で、自治体が小さいからこそ小回りのきくいい医療、いい介護、福祉、障がい者対策、あるいは、子育てがしやすい町、こういうことを売りにしていかなければ、生き残っていけないと思う。それで、このような問題をなるべく多くの町民から聞くということもそうであるし、実際その病院や事業所、保育所、そういうところで働いている皆さんの現場も大事にしていかなければならないと思う。国が、地域包括ケアシステムということで、当別町もそれに乗っ取ってこれから行っていく、展開していくというお話であった。「福祉の分野は進んでい

るが、医療の分野はまだ進んでいないです。」というご説明も町民説明会ではあったが、私から見ると福祉の分野もそんなに進んでいるとは思っていないので、今回のこれを契機に、国の方針をそのままここに持ち込むというよりは、それをよく精査して、この当別に見合った、実情に沿った、とにかく農業が基幹産業で農業をやっている方々が、農繁期に高齢者を預かってくれるところがないとか、農繁期は込み合うとか、そういう実情をちゃんと捉えた上で、今後、具体化していくことが必要かなと思う。それと、感想的に言うと3月議会の堀江病院問題の請願は、継続審議になっているが、今も引き続き署名を集めているところである。これはぼやきであるが、請願に関しては、紹介議員は、皆さんにお願いしたところ、お一人しかになっていただけなかった。一方、議員提案の同じような趣旨のものが全会一致になった。この差は何なのかというぼやきである。ぼやきであるが、ちょっと謎だなと思っている。ただ、いずれにしても町全体で色々な考え方がありつつも、病床を残すという点では、皆さん一致していると思うので、最大限それぞれの持ち場で頑張っていかなければならないかなと思っている。

○（議会）先ほど、議員提案については、説明させていただいた。地域医療体制の確立と言うか、閉院にともなう弊害と言うか、それについては、議会としても同じ思いである。ただ、町長も説明しているように、今、閉院ではなく休院ということになっているが、1年間病床の権利は持っているということで、今、その主導権は堀江病院にあるということは、皆さんも理解していると思うが、その間については、どのような方向になるのかということを見守りながら、働きかけをしながらということで、今、当別町が進んでいることを議会は理解をしているところであると思う。

○（町民）医療関係、福祉に明るい方もいるから、そういう方の意見を聞いて、早急に議会も行政も厚生労働省ないし北海道に直接行ってお願いすると。それで、自衛隊の官舎も隣で、自衛隊の方も盲腸であるとか怪我した人もあそこで手術している。今の総理大臣は自衛隊に非常に積極的であるから、議会の人、ぜひ自衛隊の力もお借りをすると。これによって、病床を確保すると。これ一つ皆さんによろしく願います。

○（議会）ご意見伺った。他にあれば願います。

○（町民）一つだけ。人口減が200人くらい毎年進んでいるという話であるが、人口減は、自然増減と社会増減がある。一番問題であるのは、きっと社会減である。この理由は何なのか、たぶん議員さんは掴んでいないと思う。戸籍の転出転入を受け入れしているところは、転出はアンケートを取っていると言っているが、アンケートを書いて下さる方は、半分以下だそうである。つまり、色々な手立てを打っているが、なぜ人口が減っているのか具体的な原因を、少なくとも転出転入の部署は掴んでいない。当然そうなる議員さんも掴んでいない。転出転入の社会増減の理由を掴んでいるかどうか、はっきりこういう理由だと答えられるのであれば答えたいと思う。たぶん答えられないと思う。戸籍の転入転出のところで、きちっとしたデータがない。私は、この4月から転出転入の理由をきちっと行政として把握すべきであると思っている。私は、今回の堀江病院の問題で一番大きな問題は、転出理由に間違いなくなるとしている。転入は、病院がないということに対して、これまたマイナスのインパクトを与えると思う。転入は転入の理由がもちろんあるが、転出の理由は明確に掴む必要があると思う。丸まって200人が減っているなん

て話ではないと思う。そこを個人情報の話ですぐこの話を掴めないで行政の方は言うが、大きな間違いであると思っている。それを固有名詞で議論するから個人情報の問題があがるのであって、転出の理由がこういう理由とこういう理由とこういうケースが多いとか少ないとかということは個人名をあげなくてもいくらでも整理することが可能であると思う。つまり、社会減の数字を明確に掴まないと、この町がこういう手を打って、ああいう手を打ってこういうことをやってきましたということでは、人口減に歯止めなんて簡単にかからない。転げ落ちるだけである。その歯止めをかけるためにどういうふうでどういう予算の配分が適切であったのかという効果検証は、たぶんこのままではできない。ということで、この4月から明確に転出の理由を掴むことを議員さんも行政もやってみてはどうか。少なくとも・・・町内会は、明確に転出転入の理由は掴める。アパートが多いとかそういうことだけではない。少なくとも80世帯が掴めるのであれば、8,000世帯であっても掴めないはずはない。転出理由は町内会長や民生委員がわかっているケースもあると思う。本当の理由、真因と言うが、これを掴む努力をしてほしい。そうでないと、今打っている手立てが、適切かどうか判別できない。どうしても窓口で掴めなければ、1週間以内に産品か何かを送って、本当の理由は何ですかと聞くまで追っかけてほしいと思う。3か月後でも追っかけてほしいと思う。実は、本当の理由が知りたいんですって。そしたら、実はと、雪が多いのは仕方ないと思うが、買い物が本当に不便なんだという真因が出てくる。それで、雪が多いのは問題ではない。買い物が自由にできないのが問題だったりするわけじゃないですか。そういう丸まった話ではなくて、個別個別の真因を掴む。これを今年1年間やってみたら、絶対に何か見えてくると思うので、行政さんに少し色々なアイデアを伝え、議員さんも転出理由をきちっと掴むと。これをぜひお願いしたい。

○（議会）貴重なご意見、ありがとうございます。どういう原因というか、真因といったが、どういうことがあるのかということは、それぞれの議員活動の中で、確かめているのか、どういうことがあるのかは大事だなというふうに思う。

○（町民）そうではなく、行政としてやってほしいと言っている。

○（議会）よくわかる。そのような話を議員が町長に何も言っていないかと言うと、過去に色々な議員も今言われたようなことは、実際にしている。色々角度を変えて。議会で出たのは、転入されてきたら町長自ら行って「当別町によく来てくれましたね。」と顔出しをしたらよいのではないかと。転出する側には、真の理由は何なのかということも、それは必要であると思う。ただ、今言われたように、個人情報であるとか色々あるようで、なかなか公にできない部分もあると思うが、できるだけ転入転出の理由を集めることは、大切であるなどお聞きしたので、機会があれば町長側にも今の話を伝えていきたいと思っているし、当然、今の話は、すぐ伝えるので、結果はどうかはわからないが、議会としても議員個々が聞いているので、そういうことも考えていきたいと思っている。

○（議会）そろそろ予定の時間で、帰られてしまった方もいるが、もう少し、もう1点か2点あればお受けしたいと思う。よろしいか。なければ閉じたいと思うが…。

○（町民）ちょっと待つて。当別町のまちづくりに関するフリートークは。

○（議会）今、やっている。

○（町民）陳情がたくさん出ているが、まちづくりの再開発事業、主に、商店街の再開発

事業により、そこに、町営住宅を建設できないかということであったが、これは最初、正直に言って、町長、副町長、相手にしなかったし、返答も何もなかった。ただ、議長に書類で出したところ、取り上げてくれて、これは非常に感謝する。当別の議会も、まだ民主主義があったんだなど。ところが、町長、副町長、書類を出しても知らん顔であった。すぐにでも、このような態度はやめてほしいと思う。それと、この公共施設のあり方特別委員会の委員長に陳情文をお送りしたが…。

○（議会）簡潔にお願いします。

○（町民）それで、町営住宅は終戦後の法律に基づいて造ったもので、50年以上建っている。うちの集合煙突なんかは、全部壊れている。これは、明らかに建築基準法、消防法、都市開発法、全ての法律に違反している。それで、町長は、そんなもん知らない。やっぱり、ここで検討特別委員会が出たから、議員さんに踏ん張ってもらって、開発へも北海道へも行って、真相を究明してほしい。私も、北海道へも開発へもお願いしたが、こんなことはあり得ないと言っていた。事故が起こったら絶対にこれ、俺は死ぬほど町長の後をぼっていきたいと思うんだ。

○（議会）それでは、議員からお願いしたいと思う。

○（議会）出された請願については、今、あり方検討特別委員会のほうで検討させていただいている。というのも、提案というのは、コンパクトシティとか、あるいは、経費を節約するためにまとまった形でそういうまちづくりをしてと捉えており、そういったこともあり方検討特別委員会の中で、ひっくるめて検討させていただいている。近々、結論を出したいとは思いますが、今のところ審議中ということである。

○（町民）今のはちょっと納得しない。建設部では、末広団地のみを計画に入れている。

○（議会）今のは最初の請願のことについての答えである。請願としては、検討させていただいている。

○（町民）それから、ワークショップでコンサルタント会社、あのコンサルタント会社の名前でもって、これが結論だと開発に出ている。これは、法律で禁止されている丸投げである。こんなでたらめを許していいのか。

○（議会）町営住宅のことについてですね。確かに、建設年次が古くてそういった住宅もある。古い住宅についても、手当をしながらなるべく長寿命化して、利用しながらやっついこうという町営住宅長寿命化計画に基づいて当別町が行っていると捉えており、これも今議論の最中であるが、こういった公共施設の中で重要な位置を占める町営住宅であるので、委員会としては、これらの検討を進めていきたいと思っている。

○（町民）長寿命化計画そのものが、法律に違反して出したんでしょ。

○（議会）違う。それを議論する場ではない。

○（議会）まちづくりに関するフリートークは閉じさせていただいて、その他のところで何かあればお受けしたいと思う。なければ、閉会をさせて…。

○（議会）せっかくの機会であるので、時間はないが、議員の成り手不足ということで、全国や全道のニュースにもなっている。今、議員定数は15名であるが、議会の中でも本当に議員定数が埋まるのかということもある。皆さんからこうしたほうがいいのか、もっと議会はこのように活性化したほうがいいのか、そういう考えがもしあれ

ば、このような機会であるのでお伺いしたい。議員報酬が高いとか、実際に当別の議員報酬は全道一高い 24 万円である。一番高いと言っても、2,000 円くらいの差のところもあるが、やはり全道一高いとなるとそれだけ目立つ。しかし、下げていいかとなると、下げるべきではないという意見もあるし、議員定数についても、もっと削減したほうがいいのではないかということもあるし、色々な意見がある。当別町議会にとっても、議員の成り手不足ということが、現実的に起こる可能性も出てくるのではないかということをお伺いしている。そういうことで、皆さんからも、こんなことを他の町村でもやっているし、参考にしたらいいのではないのかとか、そういう意見があれば、お伺いしたい。

○（町民）議員定数の関係であるが、予想されるように道新でも 8,000 人になるとかという数字があるが、まだ当別は、そこまでいくには時間がかかると思う。しかし、人口減少というのは、全国的な課題であるのでやむを得ないことであるが、当別の場合は現在の議員定数で、もっと頑張っていたらいいと思う。

○（議会）その他のところで何かあるか。それでは、閉会をさせていただく。

◎高谷議員閉会挨拶

長時間遅くまでありがとうございました。僕が議長のとときに、この議会報告会を始めたんですけれども、女性の方もたくさんご参加いただけるようになりました。今回、当別町で抱えている問題は非常に身近な問題というか、特に病院関係の問題などは、非常に身近な問題で、たくさんの方にご参加いただけたのではないかなと思います。今日は、ちょっと・・・さんがたくさんおしゃべりになったんで、帰ってしまった方・・・（○（町民）〔パン※机を叩く音〕何だその言い方。ふざけんなこの。）先ほどから聞いていたら、・・・さんの場合はどこかにお願いして下さい。厚生労働省でもどこでも。実は、請願陳情というのは、採択されると必ず国にいつているんです。直接、いつているんです。ですから、そういうことでは、世の中動かない時代であるということをやはり認識をしていただきたいというふうに思います。一人の人がここで意見を述べたら、これは必ず反映するということには、正規にはなりません。（○（町民）民主主義だから認められているんだよ。こういう制度は。）言うことは認められているが、それが実現するかどうかは民主主義ではありません。（○（町民）それを努力するのがあんたたちの仕事でないか。）それも、民主主義です。ですから、そういうことは、実際にこのように話しをしていただいて、僕は、こういう機会が与えられたなと思って、今日は非常に貴重な時間だったと思います。これから、今のところ、私どもはこれを年 2 回、予算委員会と決算委員会のあとに、議会報告会をさせていただいております。色々なものがたくさん出て決まるこの時期に、2 回開催をさせていただいているんですけれども、また、皆さんが意見を言いやすいような状況の一つ一つ考えながら次回もまた開催したいと思っておりますので、皆さん時間があればお越しいただきたいと思っております。今日は遅くまで本当にありがとうございました。